

ID No.	317
研究課題名	腸管系樹状細胞と自然免疫受容体群の解析による感染免疫機構の解明
研究代表者	植松 智 (大阪大学・特任准教授 (採択時))
研究組織 受入教員 研究分担者	清野 宏 (東京大学医科学研究所・教授)
研究報告書	
<p>放射線誘導性の腸炎の成因において、ウイルス由来の二本鎖 RNA を認識する自然免疫受容体 Toll-like receptor 3 (TLR3)が重要な役割を果たすことを見出した。医科研受け入れ教員の清野宏先生のラボが作成した Germ free のマウス施設を用いて実験を行い、腸管常在細菌叢は放射線誘導性腸炎の病態には関わらず、内因性の RNA が原因となっていることを突き止めた。現在、論文投稿中である。</p>	